



会報

日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2025年春号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人 日本太鼓財団 代表理事 佐々城 清

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)が6度目の栄冠に輝く!! 第27回日本太鼓ジュニアコンクール

3月23日(日)、日本太鼓財団主催、全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部主管により、第27回日本太鼓ジュニアコンクールを大分県大分市の「iichiko グランシアタ」において開催いたしました。

全国で行われた予選会(予選実施36支部 306団体2,725名出場、支部推薦3団体、支部未開設県1団体)から選抜された43団体422名に加え、ブラジルチーム10名、台湾チーム11名の総勢45団体、443名が出場しました(最年少7歳)。さらに、特別出演として、前年度優勝団体の大分県「三代目源流」が参加しました。

優勝旗を持った「三代目源流」、ブラジル代表「カスカベル前進太鼓」、台湾代表「葫蘆墩(ふるとん) Smile 太鼓團」が中央に並び、全出場団体がステージに整列して開会式が行われました。

国歌斉唱に続き、当財団の長谷川義会長が挨拶し、日本財団の尾形武寿理事長、大分県知事代理 尾野賢治 大分県副知事、大分市長代理 山口大輔 大分市企画部審議監よりそれぞれご祝辞をいただき、全九州太鼓連合 岩切邦光会長が挨拶しました。その後、前年度優勝団体より、優勝旗並びに優勝杯が返還され、優勝杯レプリカと桶胴太鼓が贈呈されました。

続いて石川県代表「輪島・和太鼓虎之介」の川端光太郎さんが選手宣誓を行い、長谷川義会長による初っ切り太鼓でコンクールの幕が上がりました。

出場45団体が大会規定に基づき、長谷川義会長作曲による課題曲「地打響天」と自由曲を演奏し、最後に前年度優勝団体「三代目源流」が特別演奏を披露しました。

各団体の演奏が終わる度に、お客さまよりあたたかい拍手と声援が送られました。

閉会式では、松枝明美審査委員長より総評と、山部泰嗣審査委員よりコメントをいただき、審査結果が発表されました。今年度は宮崎県「橘太鼓「響座」ジュニア」が優勝を果たし、栄えある内閣総理大臣賞に輝きました。指導者の岩切響一氏の下、12歳から17歳までの13名のメンバーが練習を積み重ね、第25回大会に続き、最多の6度目の優勝となりました。

また、準優勝の福岡県「糸島二丈絆太鼓」には総務大臣賞が、第3位の石川県「輪島・和太鼓虎之介」には文部科学大臣賞がそれぞれ贈られました。ブラジル「カスカベル前進太鼓」は篠笛立平賞を受賞しました。

本大会は2,000名のお客さまにご来場いただき、インターネットによる生中継も行い、海外の皆さまにも若さ溢れるジュニアコンクールを通して、日本の伝統文化である和太鼓をご視聴いただきました。

各団体が日頃の練習成果を余すところなく発揮し、共に競い合った一日でした。多くの学びと刺激、そして仲間との交流が、今後の成長やチーム活動に活かされていくことを期待しております。

最後に、本大会の開催にあたりご支援いただきました日本財団並びにボートレース関係者の皆さま、またご尽力をいただきました審査委員、技術委員の先生方、関係各位の皆さまに感謝申し上げます。また、保護者の皆さま、大会運営のために行き届いた心配りをして下さった全九州太鼓連合、日本太鼓財団大分県支部をはじめとする多くのスタッフの皆さまに厚く御礼申し上げます。



(選手宣誓:「輪島・和太鼓虎之介」川端 光太郎さん)



(優勝した橘太鼓「響座」ジュニア)

受賞一覧

優勝・内閣総理大臣賞
準優勝・総務大臣賞
第3位・文部科学大臣賞
第4位・大分県知事賞
第5位・大分市長賞
特別賞 大分県教育委員会教育長賞
大分市教育委員会教育長賞
OBS大分放送賞
OAB大分朝日放送賞
大分合同新聞社賞
浅野太鼓楽器店賞
諏訪響太鼓店賞
宮本卯之助商店賞
丸五賞
篠笛立平賞
ブラジル太鼓協会賞
台湾太鼓協会賞
国際友好賞
国際友好賞

橘太鼓「響座」ジュニア（宮崎）
糸島二丈絆太鼓（福岡）
輪島・和太鼓 虎之介（石川）
由布はさま太鼓（大分）
舞鶴一座 秋月鼓童（宮崎）
あさぎり町和太鼓保存会（熊本）
岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組（福島）
やまばと太鼓（秋田）
打鼓音ジュニア（神奈川）
會津田島太鼓「狐ノ刃」（福島）
火の神乙女太鼓 爽（鹿児島）
院内童龍太鼓（大分）
大和太鼓保存会 鼓天童子（佐賀）
越中いさみ太鼓保存会春蘭（富山）
カスカベル 前進太鼓（ブラジル）
やまばと太鼓（秋田）
和太鼓 鼓楽 Jr.（北海道道北）
カスカベル 前進太鼓（ブラジル）
葫蘆墩 Smile 太鼓團（台湾）

*優勝した「橘太鼓『響座』ジュニア」（宮崎）から感想文をいただきましたので掲載いたします。

「第27回日本太鼓ジュニアコンクールで優勝して」

橘太鼓「響座」ジュニア 指導者 岩切 響一

3回連続の内閣総理大臣賞がかかった本大会。子供達はかなりのプレッシャーがあったのではないかと思います。前回、最優秀賞を頂いた時のメンバーとはガラッと変わり、新チームでの本大会。小学生から高校生までのメンバーが一つの目標に向かって稽古をしている姿は、見ていてとても素敵な光景でした。時代と共に新しく変わっていくメンバーや楽曲がある中で年齢関係なく一つの大会に向けて一曲を全員で試行錯誤しながら稽古を続ける。これこそが私たちのチームの伝統ではないかと強く思った瞬間でした。長く続いたコンクールの稽古から、また舞台に向けての稽古が始まり、競い合うことの大切さと太鼓は舞台芸術であるということの大切さ、お祭りでの太鼓のあり方などを、また0（ゼロ）から学び、次へのステップアップをしていきたいと思っております。

子供達の為に、本大会をご準備頂きました日本太鼓財団の皆さま、全九州太鼓連合の皆さま、大分県支部の皆さま、他関係各所の皆さま、本当にありがとうございました。チームメンバー一同深く感謝申し上げます。



（優勝時の演奏）

審査委員（五十音順、敬称略）

浅野 昭利（財団評議員）
大藏 基誠（能楽師狂言方大藏流）
川村 真悟（太鼓芸能集団鼓童プロデューサー）
喜 多 郎（演奏家）
古屋 邦夫（財団副会長）
松枝 明美（技術委員会委員長）* 審査委員長
山部 泰嗣（太鼓奏者）

リーダー 門口 詞也 (15歳)

私にとって今年の大会はいつもと違う大会でした。なぜなら受験の年であり、初めてのチームリーダーでもあったからです。

チームをまとめるのは想像以上に難しく、それに受験勉強が重なったためにチームが上手くまとまらず、良い演奏ができない状態でした。その状態のまま県大会に出場し優勝することができませんでした。

最初は何が悪かったのかわからず、大会終了後にみんなが泣いている時に座長から悪かったところを指摘されました。チームのまとまりが悪く、チーム内でのゴタゴタがあった点も敗因の一つでした。それから自分たちの悪いところを反省し、チーム全員で話し合い、チームがまとまるように色々なことを決めました。話し合いからは一人一人の意識が変わりチームの雰囲気も良くなってきました。僕も受験勉強をしながらみんなに遅れをとらないように練習に励みました。

チーム全員が県大会で負けた悔しさをバネに努力してくれたおかげで九州大会では優勝し、21世紀枠を獲得することができました。九州大会が終わってからは受験勉強に集中するために太鼓の練習を2ヶ月間休み、全国大会2週間前からしか練習に参加できなかったのが皆に追いつけるか不安でしたが、先生方や先輩方の支えやアドバイスのおかげで遅れを取り戻すことができました。

僕が練習を休んでいる間にメンバーはレベルの高い演奏を作り上げてくれていて、全国大会では完璧な演奏ができて優勝することができたのだと思います。先生方や先輩方の指導、親の協力、メンバー全員の頑張りに感謝いたします。

そして、今大会にご尽力頂きました長谷川会長をはじめ日本太鼓財団の方々、全九州太鼓連合・大分県支部の皆さまに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

小田 弘翔 (13歳)

僕は4歳の時に初めて太鼓を叩きました。僕は生まれつき右肘から先が無いのですが、皆と同じように太鼓を叩きたいと、専用の義手を作ってもらい小学校2年生からジュニアコンクール全国優勝に向けて本格的にチーム練習に参加することにしました。初の宮崎県大会では入賞もできずにとっても悔しい思いをしたのを覚えています。先輩たちが優勝する姿を見る度に、僕もいつかは優勝したいと強く思い日々の練習を頑張ってきました。

できる限りメンバー全員で練習内容を考え、意見を交わし、時にはぶつかり合いながら本番で最高の演奏ができるように練習に励んできました。今回の全国大会当日、不安と緊張でいっぱいでした。演奏に向かう前に母から「今まで練習してきたことを信じて、とにかく楽しんでください。」と言われて緊張も解けリラックスして演奏ができました。表彰式で響座ジュニアの優勝が発表された時は嬉しさと喜びでいっぱいでした。この優勝は決して一人では成し遂げることはできません。沢山の方々の支えがあって、あの瞬間を迎えられたのだということを忘れずにいたいと思います。ここまで僕を導いてくださった先生方や先輩方、両親、そして僕の練習の為にいろいろなことを我慢させてしまった弟に感謝しています。本当にありがとうございました。日本一の先生方、家族、仲間への感謝の気持ちを忘れずにこれからも太鼓を打っていきたいです。

森田 大翔 (12歳)

僕は5歳から太鼓を習い始め、9歳の時に橘太鼓「響座」のジュニアチームに加入して全国大会で優勝することを目標に一生懸命練習を頑張ってきました。そしてついに日本太鼓ジュニアコンクールで優勝することができました。

僕には10歳年上の兄がいて、国を守る自衛隊員です。兄も小学校5年生から橘太鼓「響座」ジュニアに所属して、全国大会で優勝を目指して頑張っていました。兄は高校最後の県大会予選を順調に突破し全国大会の切符を手にしたのですが、コロナの影響により大会が中止となり、とても悔しい思いをしていました。そんな兄が自衛隊に入隊する直前、僕に「将来、響座の舞台で一緒に演奏しよう。そして自分が成し得なかった全国優勝をしてほしい」と書いた手紙を手渡してくれました。僕はその手紙を読んで全国優勝を目指すことを決めました。

そして、今回の大会で優勝することができて兄との約束を果たすことができました。

僕たちが、このような大会に出場できるのは支えてくれる家族や指導者の方、日本太鼓財団の皆さまのおかげです。今回の優勝は自分たちを支えて頂いた方々への恩返しだと思っています。次回大会にはエントリーできませんが、長谷川会長がいつも言われる「負けて腐らず・勝って驕らず」という言葉を忘れずに更にレベルを高めて2年後の大会でも優勝を目指して頑張りたいです。

海外太鼓交流～ブラジル・台湾招請～

昨年7月に行われた「第18回ブラジル太鼓ジュニアコンクール」(9団体94名参加)で優勝を果たしたブラジル「カスカベル前進太鼓」と、昨年10月に行われた「第15回台湾太鼓ジュニアコンクール」(12団体139名参加)で優勝を果たした台湾「葫蘆墩(ふるとん) Smile太鼓團」が来日しました。

3月21日(金)、コンクールに先立ち、両団体は大会の会場である「iichiko グランシアタ」で行われた成功祈願祭に臨み、所作を真似ながら神聖な雰囲気緊張した様子で参加されていました。22日(土)のリハーサル後は、他の出場団体のリハーサルを見学し、大会に向けて気持ちを高めていました。リハーサルの後、前回優勝団体である「三代目源流」も加わり交流会を行いました。子供たちは、お互いに用意したお土産の交換や出し物を披露し合い、言葉の壁を越えた交流を深め、賑やかな会となりました。

大会当日には、ブラジルチームは日本財団の尾形武寿理事長を表敬訪問し、歓迎と励ましの言葉をいただきました。

大会でブラジルチームは、ブラジルの太鼓に見られる様々なスタイルを基に作曲された「ブラジルの響き」を演奏しました。台湾チームは、太鼓への感謝と、これからも太鼓を演奏できますように、という気持ちを込めた「打打」を披露し、日頃の練習の成果を見事に発揮した演奏で、観客から大きな拍手を受けていました。

緊張で張り詰めた結果発表では、ブラジルチームが篠笛立平賞を受賞し、海外における太鼓の技術向上が感じられました。

メンバーたちは「日本のジュニアチームのレベルの高い演奏や礼儀正しさ、またスムーズな舞台進行を実際に見て驚き、感動した」、「自分たちもますますがんばっていききたい」と話していました。



(日本財団尾形理事長と記念写真)



(海外チームと三代目源流の交流会での様子)

コンクールから一夜明け、台湾チームは観光ののち25日(火)に、帰国の途に就きました。

ブラジルチームは、24日(月)に「由布院公民館」にて長谷川会長による特別講習会を受講しました。25日(火)には山梨県を訪れ、日本の象徴ともいえる富士山を間近にみて感動していました。

26日(水)には浅草の宮本卯之助商店を訪問しました。世界の太鼓が展示されている「太鼓館」では、普段見ることができない世界各国の様々な太鼓を実際に演奏することができ、満足そうな様子でした。

「太鼓演奏はもちろんのこと、あこがれの日本で素晴らしい体験をし、一生忘れない良い思い出となった。皆さまに感謝したい。学んだことを次につなげて、これからもがんばって太鼓を続けていきたい」とメンバーたちは元気に日本を後にしました。



(ブラジルチーム:表彰式)



(観光を楽しむ台湾チーム)

第97回日本太鼓支部講習会（福岡）

2月1・2日（土日）糸田町「糸田アリーナ多目的ホール」

福岡県支部主催の支部講習会を実施いたしました。地元の福岡県をはじめ、7道県から36名が受講しました。開会式では福岡県支部河島賢明支部長から励ましと歓迎の挨拶がありました。2日間に渡り、受講生たちは熱心に講習を受けていました。

○総合指導 松枝 明美

○5級基本講座 古屋 邦夫

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定 27名受験 27名合格・認定



（5級基本講座）

第72回日本太鼓全国講習会（鹿児島）

2月22・23日（土日）鹿屋市「国立大隅青少年自然の家」

全九州太鼓連合、鹿児島県支部主管の全国講習会を実施いたしました。地元の鹿児島県をはじめ、13都府県と台湾からの参加を含む203名が受講しました。開会式では、当財団長谷川義会長、全九州太鼓連合岩切邦光会長、鹿児島県支部牧尾正臣支部長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶がありました。2日間に渡り、受講生たちは熱心に講習を受けていました。

○総合指導 松枝 明美

○基本講座

3級基本講座 野方 嘉孝

4級基本講座 若山 雷門

5級基本講座 高島 奈々

○専門講座講話 長谷川 義（財団会長）

○専門講座

単式単打法講座（担ぎ桶） 岩切 邦光

単式複打法講座 古屋 邦夫

複式複打法講座 長谷川 準

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 15名受験 15名合格（3名認定）

2級検定 21名受験 21名合格（10名認定）

3級検定 23名受験 23名合格・認定

4級検定 41名受験 41名合格・認定

5級検定 46名受験 46名合格・認定



（単式単打法講座）

成田太鼓祭に参加 ～全国太鼓情報発信基地に多くのお客さま～

4月19・20日（土日）千葉県成田市の成田山新勝寺とその表参道において「成田太鼓祭」が開催され、両日合わせて24万人もの来場者で賑わいました。千葉県支部、千葉県太鼓連盟、当財団の協力で設置した「全国太鼓情報発信基地」には2日間でおおよそ3,000人のお客さまが訪れました。浅野太鼓楽器店のご協力を得て設置した大太鼓の試し打ちコーナーでは、お子さまや外国人等多くの方々に楽しんでいただきました。



（成田山表参道の様子）

各種会議

<運営委員会・技術委員会>

第78回運営委員会・第84回技術委員会を1月17日（金）東京にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 第27回日本太鼓ジュニアコンクール実施について
課題曲、出場団体に関して審議すると共に抽選により出場順番を決定した。
2. 日本太鼓シニアコンクール開催要領について
第6条実施内容について、現行の（3）「個人にあっては、伴奏者の人数及び年齢は問わない。」を「個人にあっては、伴奏者3名以内とし、伴奏者の年齢は問わない。」と変更した。
3. 2024年度事業の実施報告と今後の予定について
4. 2025年度事業計画（案）について
 - ①太鼓エイド事業
2025年度太鼓エイド事業は計43事業申請があり、運営委員による審査が行われた。審議の結果、8事業が不採択となり35事業が採択された。
 - ②大阪・関西万博1000人太鼓について
合同演奏曲「いのちの響宴」について、地区ブロック単位で講習会を行い、必要であれば技術委員を派遣することとした。
5. 一般会員の入会について

<理事会>

理事会を3月13日（木）東京にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 2025年度事業計画及び収支予算（案）について
 2. 評議員会の開催について
 3. 評議員選定委員会運営規程の一部変更について
- 報告事項 職務執行状況について、職員就業規則等の改正について

<技術委員会>

第85回技術委員会を3月23日（日）大分にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 第27回日本太鼓ジュニアコンクール講評について
2. 公認指導員の認定について
3. 大阪・関西万博1000人太鼓について

公認指導員誕生

公認指導員の昇級条件となる講習内検定を経て第85回技術委員会で検討した結果、1級公認指導員3名、2級公認指導員4名が認定、昇級されました。

- 1級公認指導員：秦野智徳（北海道・ほろむい太鼓同志会）、田中俊亮（長崎・おおむら太鼓連くじら太鼓）、田中茂雄（福岡・糸島二丈絆太鼓）
- 2級公認指導員：柏木博光（熊本・田原坂太鼓保存会）、南河真依（大阪・泉佐野太鼓眞-ZEN-）、恵藤良太（大分・豊の国ゆふいん源流太鼓）、池田靖洋（宮崎・和太鼓一家天響）

認定、昇級された皆さまおめでとうございます。今後のますますのご活躍を期待しております。

計 報

日本太鼓の普及、発展のために永年ご尽力いただきました「手取亢龍太鼓保存会」（石川）の安江信壽（信寿）氏が2024年12月28日にご逝去されました（満76歳）。安江氏は、技術委員として財団の活動にご協力いただき、数多くの講習会で講師を務めていただきました。また、指導していた「手取亢龍若鮎組」は、これまでに3度の全国大会優勝を果たしました。

ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

2025年度太鼓エイド交付事業決定

運営委員会を経て、理事会で次の35事業が承認されました。報告書受理後、助成金が交付されます。

支部講習会5事業（海外含む）

7月5・6日（土日）	第17回全台湾太鼓全国講習会	（台湾桃園市）
8月24・25日（日月）	日本太鼓支部講習会（兵庫）	（兵庫県豊岡市）
10月～2月の内、計8日間	ブラジル検定試験	（ブラジルサンパウロ州）
2026年		
2月28・3月1日（土日）	日本太鼓支部講習会（茨城）	（茨城県取手市）
3月7・8日（土日）	日本太鼓支部講習会（道西）	（北海道岩見沢市）

教職員研修会2事業

7月6日（日）	第16回栃木県教職員和太鼓研修会	（栃木県佐野市）
8月24日（日）	第16回宮崎県教職員太鼓研修会	（宮崎県宮崎市）

一般事業28事業（海外含む）

5月3日（土）	都城霧島盆地交流会	（宮崎県都城市）
5月11日（日）	令和7年静岡県太鼓まつり in 清水	（静岡県静岡市）
・9月21日（日）		
5月11日（日）	関西大阪万博盛り上げ太鼓イン三重	（三重県多気郡明和町）
5月・6月・12月	滋賀県支部ワークショップ	（滋賀県近江八幡市）
6月22日（日）	第2回中日本太鼓フェスティバル	（富山県南砺市）
6月29日（日）	さぬき和太鼓フェスティバル鼓響	（香川県高松市）
7月19・20日（土日）	北陸三県雷童サマースクール福井	（福井県大野市）
7月19・20日（土日）	全九州和太鼓サマースクール	（大分県由布市）
7月27日（日）	第19回ブラジル太鼓ジュニアコンクール&フェスティバル	（ブラジルサンパウロ州）
8月24日（日）	Okayama Taiko Festival	（岡山県倉敷市）
8月31日（日）	日本太鼓財団北海道連合会20周年記念演奏会	（北海道岩見沢市）
9月21日（日）	第33回東北太鼓フェスティバル	（岩手県一関市）
10月12日（日）	三重県太鼓フェスティバル・ジュニアコンクール予選会（仮称）	（三重県津市）
10月12日（日）	千鼓一祭～ひがし北海道から～	（北海道釧路市）
10月19日（日）	福井 ドドンと太鼓祭り	（福井県越前市）
10月19日（日）	みやぎ太鼓フェスティバル in 登米	（宮城県登米市）
11月9日（日）	第18回全台湾太鼓フェスティバル&第16回全台湾太鼓ジュニアコンクール	（台湾苗栗縣）
11月16日（日）	第2回日本太鼓ジュニアコンクール京都府予選・交流会	（京都市右京区西京極）
11月30日（日）	第2回全関東・日本太鼓ジュニアコンクール	（東京都大田区）
11月30日（日）	第8回北海道太鼓ジュニアコンクール	（北海道岩見沢市）
12月7日（日）	第14回東北太鼓ジュニアコンクール	（秋田県大館市）
12月7日（日）	令和7年度岡山県支部ワークショップ	（岡山県岡山市）
12月14日（日）	日本太鼓ジュニアコンクール大阪府予選会なにわ太鼓祭	（大阪府大阪市中央区）
12月14日（日）	第20回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール	（福岡県飯塚市）
2026年		
1月18日（日）	いわて子ども太鼓フェスティバル	（岩手県奥州市）
1月25日（日）	長崎県太鼓連合和太鼓フェスティバル2026	（長崎県東彼杵郡波佐見町）
2月8日（日）	第16回関八州太鼓まつり	（群馬県藤岡市）
2月22日（日）	太鼓戦国時代「響け！唐沢山へ！」	（栃木県佐野市）

第9期公認指導員更新研修会の案内

規定により3年毎に行われる公認指導員の第9期更新研修会は、2025年度の日本太鼓全国講習会等で実施予定です。対象は2025年3月31日現在、1級技術認定員に降格中の公認指導員を含む218名となります。更新条件として、更新研修会に参加されるまでに、全国・支部講習会にかかわらず、更新講習の受講または講習内検定に1回以上参加することが義務づけられています。

*更新研修会のご案内は5月中に発送予定です。

*なお、この更新研修会に不参加の場合は、公認指導員としての資格を喪失しますのでご注意下さい。

事務局だより

大阪・関西万博1000人太鼓 合同演奏に関して

【概要】

名 称: 日本太鼓ジャンボリー

「大阪・関西万博 千鳴太鼓」(せんなりだいこ)

実施日: 2025年7月13日(日)

会 場: EXPO アリーナ「Matsuri」

入場料: 無料・予約不要

*万博チケットがあればどなたでも入場可

出 演: 111団体(日本、台湾、ブラジル)約1,500人



アリーナは最西に位置*協会ガイドラインより引用

スケジュール:

12日(土)	深夜: スタッフ設営開始	
13日(日) ※時間帯は午前	午前5時: 持込太鼓搬入※1 10時※2: 奏者集合・朝礼 於: アリーナ 10時15分: 位置調整・全体説明・音確認 10時45分: 休憩(約40分)・観客入れ 11時30分: リハーサル 11時45分: 本番 / 12時: 終演	※1: 太鼓持込団体は、運搬車で直接、アリーナ内に搬入 ※2: 集合は(9時ではなく)10時に変更

《参加団体の皆様へ》

本番まで残り約2カ月となりました。速やかなID登録へのご協力等、感謝いたします。今後ともご依頼・連絡事項等がございますので、特に窓口担当者様におかれましては、ご面倒をおかけしますが適宜メールボックスを確認していただけますようお願い申し上げます。

○練習サポート

支部・ブロック単位での合同練習について、練習会1回に対し、上限5万円(原則)を補助します。(支部内に出場団体がある支部長・事務局長には本年3月13日にメールで要項をご案内済)



技術委員等も参加した九州ブロック合同練習
(4月20日(日) / 大分県由布市)

○説明会の開催(第一回5月1日(木)19時~)

現時点での決まりごと、調整中・未定な部分につき、参加団体・スタッフ・事業者等の皆様に現状を説明しました。録画は当財団公式サイト(右のQRコード)に公開予定です。
なお、次回は5月下旬~6月上旬に、主に演奏面(音の合わせ方、開始・終了時の流れ、配置等)についてご説明予定です。



○今後の案内(一部)*詳細はメールにて送付します

- ・宿泊について(希望団体のみ): 団体毎に宿・確保済み部屋数・タイプをご案内しますので、部屋割りを作成の上、ご提出ください。
- ・太鼓搬入車の事前登録に係る確認: 太鼓持込団体に、車両情報(サイズ・色等、レンタカーの場合にはその旨も)をお尋ねします。

第73回日本太鼓全国講習会・第9期公認指導員更新研修会(富山県氷見市)

期日: 2025年8月30日・31日(土日)

会場: 氷見市ふれあいスポーツセンター 〒935-0025 富山県氷見市鞍川43-1 Tel. 0766-74-8500

主催: 公益財団法人日本太鼓財団 主管: 日本太鼓財団富山県支部、中日本太鼓連合

*詳細は決まり次第当財団公式サイトに掲載いたします。



公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

